

2023 年度 市民自然観察会「街中ジオ散歩ーサッポロの失われた川」のご案内

札幌の街は、母なる川豊平川の 1 万年以上前からの営みによりできた大地（豊平川扇状地）に位置しています。街中ジオ散歩では、市民の皆さんとともに豊平川扇状地を作った古い河川「サッポロ川」の痕跡をたどり、札幌の生い立ちを探ります。

今年は以下の要領で 3 回開催します。

皆さんの参加をお待ちしています。

各回とも集合は午前 10 時、解散は午後 3 時（弁当持参）

参加費：各回 2,000 円（保険代・資料代を含む）

各回の詳細計画や申し込み方法はそれぞれの 1 か月前に協会ホームページなどに掲載いたします。

問い合わせ・連絡先：宮坂省吾（メール galant@cronos.ocn.ne.jp、携帯 090-3892-3293）

主催：北海道自然保護協会

協力：山の手博物館

第 1 回「三角山」

期日：6 月 10 日（土）

別途料金：リフト代金（一般 1,000 円：高齢者（65 歳以上）、札幌市民割引あり）

内 容：三角山は 500 万年前（新第三紀鮮新世前期）にできた火山です。

大倉山展望台で、麓の山々の地形・豊平川扇状地などを見学します。採石跡地では、三角山安山岩の年齢、節理、皺状構造、角礫状安山岩、捕獲岩、熱水変質などを解説します。頂上の三角山安山岩を間近に観察して解散です。

採石跡地の樹木の特徴も紹介します。

第 2 回「中島公園」

期日：8 月 5 日（土）

内 容：中島公園は、豊平川扇状地を造った古サッポロ川の流路跡です。

2000 年ほど前にサッポロ川（現在の豊平川）へ流路が移動し、扇状地には名残川が流れ始めました。それが鴨々川の始まりです。ジオ散歩では、パークホテルや伊夜日子神社付近に残る古い河川地形を見学します。鴨々川沿いの川岸には豊平川上流域に分布する岩石が円礫となって散らばっています。これは古サッポロ川が中島公園を流れていた証拠です。

豊平川から鴨々川への分流口、豊平川河床に堆積した円礫、堤防により住宅地となった豊平川の川跡なども観察しましょう。

豊かな樹木の特徴も紹介します。

第 3 回「伏籠川上流」

期日：10 月 7 日（土）

内 容：フシコ川は西暦 1800 年頃まで流れていたサッポロ川の名残川です。

サッポロ川を利用した用水「大友堀」の川跡とフシコ川への落し口（大友公園）を訪ねます。そこからサッポロ川を上流に向かい、法国寺前と対岸にある北 13 条北郷通沿いの河岸跡、苗穂小学校から大覚寺までの河川低地を歩いてみます。

フシコ川東分流の東岸にあったと思われるアイヌの墓、ツイシカリ・アイヌが住んでいたフシコ川北岸が微高地（自然堤防）となっていることを紹介します。

札幌市の保存樹となっている大覚寺のヤチダモ・イチョウ・シダレヤナギも観察します。